

# 辺野古新基地NO

# 基地のない、 平和な沖縄を

願いは



9月11日に行われた沖縄県知事選挙で、辺野古への新たな米軍基地建設反対、普天間基地の閉鎖・撤去を求める玉城デニー知事が、基地建設推進を明確に掲げた相手候補に圧勝し再選されました。しかし岸田政権はあくまで基地建設を進める姿勢です。民意に従い、基地建設を中止すべきです。

## 基地建設は強奪の歴史

沖縄の米軍基地は、戦後の米軍占領下で住民を收容所に追いやり、家屋や田畑を強奪して造られました。收容所を出た住民は、元の住処である基地の周りで生活をせざるをえなかったのです。今も本島の約2割が米軍基地とされ、県民の命と暮らしが脅かされています。宜野湾市の普天間基地周辺では、オスプレイやヘリ、戦闘機が低空を飛び回り、部品落下や墜落を頻発させています。有害化学物質の流出事故も起きています。

## 続く有害物質流出、爆音激化

普天間基地の「危険性除去」を口実に進められているのが、名護市辺野古への新たな米軍基地建設です。豊かな海を埋め、将来に渡り基地の苦しみを押し付けるこの計画に、県民は19年の県民投票（7割超が反対）はじめ、何度も反対の意思を示しています。

## 外交で地域の平和に貢献を

玉城知事は5月、本土復帰50年に当たって新たな「建議書」を発表し、「基地のない平和な島」の実現にいつそう取り組むこと、平和的な外交・対話によりアジア太平洋地域の平和に寄与する役割を果たすことを日本政府に求めました。知事再選後の記者会見でも、「有事」を想定した基地増強に反対し、平和外交で地域の平和に貢献する沖縄をめざすことを表明しました。

日本国憲法に立脚し、平和を希求する玉城知事が再選されたことは、アジア地域の平和の実現にとっても大きな意義を持ちます。

『辺野古新基地建設の断念を求める署名』にご協力を！

日本平和委員会

2022年11月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです  
「平和新聞」(旬刊)、「平和運動」(月刊) 発行中

<http://j-peace.org/> (t) (f)

